



3 全ての人に健康と福祉を

「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 廣幡、大坪

柿崎 町永

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | 具体的取組（活動） |
|--|--|
| 1 定期健康診断における 非感染性疾患（生活習慣病） による有所見者を、 次回までに4分の1減少させる | 会社及び安全衛生委員会から有所見者の精密検査早期受診を促すとともに、 積極的に通院ができる環境づくりを推進する まずは盆休明けまでに、有所見者の半数以上が受診することを目標として、 様々な機会を通し受診へのアプローチを行う。 （2023年結果 要精密検査 40件） |
| 2 | |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | 目標（指標）現状 |
|---|--|
| 1 4/8現在で要精密検査の受診軒数は4/40(3名)と目標を大きく下回る結果となった。 朝礼、K Y、工程会議、事務所会議、安全衛生委員会などあらゆる機会を受診を 呼びかけてきたが、目標達成にはほど遠い数字だった。 今後、更なる取り組みの強化と受診啓発活動を推進していくことの必要性を痛感した。 産業医とも連携し次年度は、今年度以上の受診を目指したい。 | 本年度末までに受診軒数を 半数以上(20)とする。 結果： 4件（3名） |
| 2 | |



4 質の高い教育をみんなに

「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 中川（重）、星野

柿崎 五十嵐

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | | 具体的取組（活動） |
|--------|--|---|
| 1 | 鉄骨製作管理技術者 1 級 及び 2 級の資格取得 目標値 40名 | 全社員の資格取得の推進 社内教育と、研修による人材育成の強化 週1回 勉強会の開催（柿崎はリモートでの参加） 現在（1級）31名、（2級）1名、【合計】32名 ※試験合格し実務経験年数待ちが1名 |
| 2 | 溶接技能資格 JIS資格保有者のAW検定取得 目標値：JIS資格保有者に対する AW保有の割合を50% | 全社員の資格取得の推進 社内教育と、研修による人材育成の強化 AW受験者に対して、試験日の1週間前に教育を行う 現在 JIS有資格者32名、AW検定有資格者8名【AW検定保有率 25%（R含）】 |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | | 目標（指標）現状 |
|-----------------|---|---|
| 1 | <今年度の試験結果> ・ルートA合格者3名 → 有資格者35名になりました。 ・ルートB合格者2名 → 実務経験年数待ち2名です。 | 有資格者35名、実務経験年数待ちが2名。 あと3名の合格で目標の達成となる。 |
| 2 | AW検定有資格者13名÷JIS有資格者33名×100=AW検定保有率39.4% | 今年度は14.4%の増加となった。 |



5 ジェンダー平等を実現しよう

「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」

SDG s 推進委員

杉野袋 藤川、小川（紗）

柿崎 小山（加）

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | 具体的取組（活動） |
|--------------------------------|--|
| 1 女性活躍推進法に基づき社員の働きやすさ向上を目指す | 仕事と家庭を両立できるような社内規則や制度を会社へ提案し、実現させる 公表している他社の女性活躍推進法行動計画を参考にし、社員の意見をまとめて、会社へ打診する |
| 2 育児・介護休業制度の周知、取得向上を目指す | 全社員に制度の利用条件、利用方法をわかりやすく説明し、取得を促す 取得しやすいような規則や雰囲気づくりを会社へ打診する |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | 目標（指標）現状 |
|---|----------|
| 1 公表している他社の一般事業主行動計画を確認したところ、 ・女性社員の採用を増やす。 ・女性社員のキャリアアップを目指す。 ・女性専用の設備を充実させる。等、いろいろありましたが、ほぼ共通して各社が目標として挙げていたのは「育児休業取得向上」でした。 上記を踏まえ、目標1の活動内容は目標2と同じとします。 | |
| 2 6月9日(金)15：15～ 第2会議室にて、現状の就業規則と法律との相違点を指摘した。 9月2日(土)メールにて 改定後の就業規則と法律との相違点を指摘した。 子供が産まれた社員個別に、その都度、育児休業・休暇・就業制限等の内容を説明。 | |



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

「すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的 エネルギーへのアクセスを確保する」

SDG s 推進委員

杉野袋 小菅、伏江

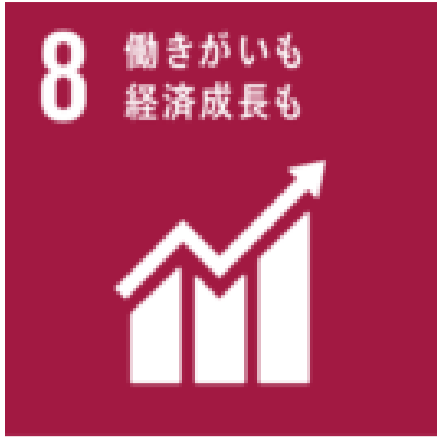
柿崎 新川

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | 具体的取組（活動） |
|---|---|
| 1 排出CO2ガスの削減 社有車のハイブリット車、EV車への移行 目標値 80% | 社有車両の排出CO2ガスの削減の為、ハイブリット車、EV車へ移行 【車両入れ替え時、新規購入時にハイブリット車、EV車に移行する】 |
| 2 LED照明によるCO2削減 LED照明に移行 目標値 83%(杉野袋工場) 36%(柿崎工場) | 蛍光灯照明によるCO2削減の為 LED照明へ移行 杉野袋工場 2022年度、杉野袋工場事務所の照明数138台の内110台LED照明に移行 割合79.7% 2030年度目標達成100%には、毎年度約3%、台数にして4台移行する。 柿崎工場 2022年度、柿崎工場事務所の照明数63台の内12台LED照明に移行 割合25.4% 2030年度目標達成100%には、毎年度約12%、台数にして7台移行する。 |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | 目標（指標）現状 |
|---|--|
| 1 柿崎事業所の社用車1台をハイブリッド車に更新 | 目標値80% 移行率 56.3% |
| 2 杉野袋工場事務所照明LED移行 119/138台 柿崎事業所事務所照明LED移行 63/63台 | 杉野袋工場（目標値83%） LED照明化率 86.2% 柿崎工場（目標値36%） LED照明化率 100% |



8 働きがいも経済成長も

「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ

生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク)を促進する」

SDG s 推進委員

杉野袋 横田、風間

柿崎 高島

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標 (指標) | | 具体的取組 (活動) |
|---------|---|--|
| 1 | 有給取得率の向上 目標値 60.00% | 有給休暇取得奨励日の設定 有給休暇を取得しやすい環境整備 (奨励日の増) 2024年度の有給奨励日の設定を増やして頂けるように打診する |
| 2 | 全社員ノー残業デーをつくる 月1回以上 (全社員がノー残業の達成回数) | SNS (ライン) で社員への一斉配信をしてノー残業日を周知する 全社員が見る場所にノー残業デーを知らせるポスター等掲示をする (水曜日、土曜日はノー残業デー) |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | | 目標 (指標) 現状 |
|-----------------|---|--|
| 1 | 2023年8月時点で有給休暇取得率≒38%あり残り7ヶ月間で残り22%の有給休暇取得率が達成できる様になり、有給休暇奨励日の増設は不要となりました | 2022年度 66.53% 2023年度 8月まで 37.95% 2023年度 63.7% (1195.5/1877) |
| 2 | 水曜日、土曜日の10:00又は、12:00にラインにて社員全員に『ノー残業デー』を告知しています 指紋認証の場所にノー残業デーを掲示し周知しています | 全社員ノー残業デーは未達成 柿崎事業所 17/64回達成 本社工場 7/64回達成 本社事務所 2/64回 |



10 人や国の不平等をなくそう

「各国内及び各国間の不平等を是正する」

SDG s 推進委員

杉野袋 松山、柳澤

柿崎 熊木

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | 具体的取組（活動） |
|----------------|--|
| 1 社内環境の平等維持 | <p>「公平委員会」（名前は仮）の発足</p> <p>社員が不平等と思う事などの意見や相談を受け、議題に対して問題点を探る。</p> <p>早急な対応策・改善策の立案、実行、経過に対しての適正な判断と処理を行う。</p> <p>（コンプライアンス、ハラスメントに関わる事案は早急な対応を行う）</p> <p>受付は、基本随時だが、1回/月に社員へのヒアリングを行う。</p> <p>ヒアリングをする社員は、その都度決める。（気になる社員をピックアップする）</p> |
| 2 | <p>また、判断や処置、改善内容が公平に行われているかをSDGs推進委員に1回/6か月報告をし、適正かの判断を受ける。</p> <p>受付先は、熊木・松山・柳澤とする。</p> |

2023年度 最終報告

| | 目標に対する取組状況、活動報告 | 目標（指標）現状 |
|---|--|--|
| 1 | <p>ヒアリング実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 ベトナム事務所 4名 ・7月 杉野袋工場 3名 ・8月 柿崎工場 4名 ・10月 柿崎工場 2名 ・11月 柿崎工場 1名（再） <p>その他 相談受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 6名 | <p>ヒアリング 月1回実施→未達成</p> <p>その他</p> <p>突発の相談を受け、</p> <p>2023年度内では6名の面談を実施。</p> |



11 住み続けられるまちづくりを

「包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」

SDG s 推進委員

杉野袋 堀口、佐藤 (貴)

柿崎 星野 (祐)

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標 (指標) | | 具体的取組 (活動) |
|---------|-----------------------------|---|
| 1 | 会社敷地以外の清掃活動の実施 目標値 年3回以上 | 会社周辺道路の清掃を行う (春、秋の工場ヤード清掃時に活動を行う。) (杉野袋、柿崎工場同日に実施) |
| 2 | 消火設備等の設置場所の周知 | 消火器・AED等の設置場所をマップにして、全員の目が届くところに掲示する。 (柿崎工場のAED設置場所の変更予定、常時使用できる場所へ) |
| | | 防災活動を計画し、実施する (年1回) (例: 避難訓練、AED講習、消火器講習など) |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | | 目標 (指標) 現状 |
|-----------------|--|-------------------------------|
| 1 | 2023年4月14日(金)、9月29日(金)、12月8日(金)に本社周辺道路の清掃を行いました。 2023年9月27日(水)に柿崎事業所周辺道路の清掃を行いました。 本社・柿崎合計4回行いました。 | 本社 3回 実施 柿崎 1回 実施 合計 4回 |
| 2 | 消火器・AED等の設置場所マップを作成し、全員の目が届くところに掲示しました。(本社・柿崎) AEDを常時使用できる場所へ移動しました。(柿崎) 2023年11月18日(土)上越消防署職員の方をお呼びして、応急処置手当 (AED講習も) についての防災活動を行いました。(本社にて社員全員参加+協力業者) | |



12 つくる責任 つかう責任

「持続可能な生産消費形態を確保する」

SDG s 推進委員

杉野袋 西條、竹内

柿崎 小山（拓）

SDG s 達成に向けた(株)コスゲの目標と取組

| 目標（指標） | 具体的取組（活動） |
|---------------|--|
| 1 エコキャップ回収 | <p>自販機横にエコキャップ回収BOXを設置する 本社2箇所、柿崎2箇所</p> <p>集めたキャップは回収先へ宅急便or直接持ち込みをする 4月～スタート予定 (回収したキャップはNPO法人エコキャップ推進協会へ送り 医療支援や海外のワクチンに使われる) → 認定NPO法人JCVへ変更</p> |
| 2 | |

2023年度 最終報告

| 目標に対する取組状況、活動報告 | 目標（指標） 現状 |
|--|---|
| 1 回収BOXの設置 ポスター作成、掲示 キャップの回収、集計 | <p>本社2箇所 柿崎3箇所</p> <p>本社3箇所 柿崎1か所</p> <p>合計重量 合計個数 CO2削減量 14kg 5,600個 44.1kg</p> <p>ワクチン 7人分</p> <p>※現在発送中のものもあるので 回収した量はもう少し多いです</p> |
| 2 | |